

あなたとできる街のバリアフリー

地域支援のかたち

～5分100円の御用聞きがつくりだしたもの～

2020年1月9日(木) 14:00～16:30

無料

会場：平塚保健福祉事務所 3階大会議室

定員 80名

対象：福祉関係職員（行政、社会福祉協議会、民生・児童委員、介護・福祉事業所職員等）、
また関心のある方はどなたでもご参加いただけます。

【申し込み方法】裏面をご覧ください。手話・要約筆記もお申込みください。

講演内容

- ・まちに生活する方の困りごとの掬い方
～生活のささくれが小さな障壁となって暮らしの彩を奪っていく～
- ・豊富な事例に基づく独自の関わりとその取組み方
～“5分100円”から“ゴミ屋敷”の片づけまで「会話で世の中を豊かにする」～
- ・御用聞きを支える担い手の集め方
～2年半で360余名の担い手の応募がある御用聞き。担い手が集まるその秘密とは～

講師 古市 盛久 氏

株式会社御用聞き代表取締役社長

大学卒業後、大手不動産会社に入社。不動産管理業務に従事。同年年末に起業。9年間の不動産事業の後、地域支援の領域に御用聞き事業を起ちあげる。6,000件の独自の事例の中から体系化された手法は多くのメディアで取り上げられ、最近では大企業での社内研修講師も担っている。



神奈川県では、高齢者や障害者などが安心して快適に生活でき、自由に外出することができるやさしい街をめざし「神奈川県みんなのバリアフリー街づくり条例」を制定しています。“バリアフリー”“街づくり”というと、道路や建物の整備など自治体の役割だと思われがちですが、その街に暮らす私たち自身にもできることがたくさんあります。

逆に、道路や建物だけでは、本当のバリアフリーは実現できません。そこに住む私たちの気持ち次第で、街のバリアは解消していきます。地域にある資源を繋いでみんなで街のバリアの解消を目指すことが大切です。



高齢化、人口減少、支援の担い手不足。8050問題、関係の希薄化、社会的孤立。複合化し潜在化している課題に、バリアがあるように感じていませんか。制度で対応できない小さな困りごとを解決しようとしている人がいます。



●申し込み方法 事前申し込みをお願いします。

平塚保健福祉事務所 保健福祉課 担当 今泉・畠中 宛

〆切 2020年1/6(月) 手話・要約筆記の申し込みもこの日まで

電話、ファクシミリ、又はメールでお申し込みください。

電話 0463-32-0130 (代表) 内線 268
 ファクシミリ 0463-35-4025
 Eメール hirahofuku.1577.hofuku@pref.kanagawa.lg.jp

●アクセス



必要事項をご記入の上、ファクシミリではそのまま送信してください。

参加者氏名	お住まい・活動の地域
	市町
機関・団体名	連絡先電話番号
手話通訳	要約筆記
要・不要	要・不要

- ★JR平塚駅北口より神奈中バスにて約10分
 - ・バスのりば7番「伊勢原」行きで「追分」バス停下車、徒歩1分
 - ・バスのりば8番全ての系統で「追分」バス停下車、正面玄関前
- ★小田急線伊勢原駅南口より神奈中バスにて約15分～25分(ルートや路線で違いあり)
 - ・「平塚駅北口」行きで「追分」バス停下車、徒歩1分

※ 公共交通機関をご利用ください。駐車場が必要な方は事前にお申し出ください